第3204号 本文

高槻 秀男　武内慶次郎　長井政次郎　中村 庄次
宇津 江正　山口 光次　松浦 俊　後藤猶太郎
齋藤 東五　木鍋 勇　喜島 次男　三浦 次作
三好 正躬　宮島 佐一　塩川 壽介　篠原賓之助
篠原 幸一　澁谷 力　妊田 一夫　平野 政衛

明治專門學校ニ於テ本月ヨリ入學セシムヘキ者ノ學科、氏名左ノ如シ(以上文部省)

本科

鑛山工學科

鹿兒島 池上 爲威　愛媛 越智芳次郎　長野 大野田 剛
兵庫 片山 春夫　山口 川口 勇　福岡 古賀 正雄
山口 佐伯 虎太　山口 嶋村 哲夫　佐賀 容野 梅雄
廣島 泰 守雄　福岡 友納 惣市　福岡 福田 定義
埼玉 增田 精　兵庫 三澤 英勝　佐賀 吉原 末雄

冶金工學科

岡山 沖 源五　兵庫 含賀野三郎　長野 久保雄二郎
島根 齊藤 三男　福岡 鳥山 鶴雄　栃木 早乙女與七
福岡 高原 久　福岡 廣取 祐兒　愛媛 中嶋 豊一
兵庫 中田 晃　佐賀 平方 淳一　大分 眞邊 香樹
福岡 前田 俊隆　岐阜 矢嶋 良雄

機械工學科

福岡 安部 源藏　山梨 雨宮 益造　鳥取 有田 豊雅
福岡 幾野 政親　福岡 今井 政治　三重 岩田 安應
愛知 加藤 義一　佐賀 片岡 健一　長崎 佐々木利秋
大分 白在丸文雄　福岡 白川 利彦　鹿兒島 竹下 正明
福岡 竹林 六郎　埼玉 竹村靜治郎　大分 長木 武士
大分 林 勇　廣島 平岡桃之衛　福岡 森永 智榮
千葉 松浦 佐　福岡 三ケ尻龜次郎　廣島 村上 和人
福岡 森 孟雄　福岡 矢野 浩助

應用化學科

鹿兒島 伊平田 繁　香川 入谷 岩雄　新潟 岩崎 磯吉
熊本 江崎 平八　東京 小倉理太郎　佐賀 小野原正夫
山口 神代 龍雄　廣島 喜多村紀真　熊本 圓枝 繁
福岡 近村 凡夫　福岡 豊原 守城　鳥取 中西 德良
山口 濱田 健治　福岡 船津 武磨　福岡 古屋 秀雄
支那 方 履熙　熊本 松浦 勇　香川 吉川 久男
岐阜 若山 英次

電氣工學科

大分 麻生 亨　福岡 有松 知房　福岡 出光 文雄
福岡 江口 實澄　福岡 大橋 一清　山口 香川 新
福岡 加納 光雄　熊本 龜井 光雄　福岡 城戸 正吉
新潟 佐藤 武　靜岡 櫻井 久雄　福岡 篠原 幸雄
福岡 田中 丰吾　支那 鄭 漢先　山口 富山 覺
大分 長岡 公規　福井 中川吉之助　廣島 中畔 謙一
佐賀 中村 時男　愛知 二宮 信雄　山口 渡佐間 博
福岡 廣田 繁紀　福岡 藤木 末雄　岡山 堀畑鎌次郎
福岡 松崎治七郎

選科

電氣工學科

福岡 加島 常雄　山口 兎潮 泰夫
福岡 今橋 茂　福岡 石橋 正春

●特待生選定 米澤高等工業學校ニ於テ左記ノ者ヲ本學年度特待生ニ選定セリ

電氣科第二學年 山賀 重雄

明治專門學校ニ於テ左記ノ者ヲ本學年特待生ニ選定セリ

礦山工學科第四學年 駱 楨　電氣工學科第三學年 酒井 博
機械工學科第四學年 友成九十九　機械工學科第二學年 江口 俊夫
應用化學科第四學年 村上 參三　川口 雄猷　新町 孝策

東京外國語學校ニ於テ去月二十四日左記ノ者ヲ次學年特待生ニ選定セリ(以上文部省)

獨語部文科第二學年 尾崎 禾七
西語部貿易科第二學年 玉木 勝夫
蒙古語部拓殖科第二學年 出村 良一

○宗教

●淨土宗宗規本山條例及大本山住職選擧規則改正 淨土宗宗規本山條例及大本山住職選擧規則改正ノ件本月六日認可セリ(文部省)

○財政

●麥酒査定石高 大藏省ノ調査ニ係ル大正十一年度(自十一年九月至十二年二月)麥酒査定石高並ニ三月以降ノ累計左ノ如シ(大藏省)

道府縣	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	累計
東京	三五、四二七	九、三六四	八、一九一	七、三九一	三、六一七	二、二五〇	三四五、三三八
神奈川	七、三四九	四、五七五	二、九三〇	二、九七四	一、四四五	一、七八〇	八二、九六〇
大阪	一三、一一〇	三、六八一	二、八八三	二、三八八	五、五〇七	六、四四八	一一三、九六七
兵庫	四、七五七	三、六八五	一、一〇三	一、〇〇六	八二五	八、八三三	七二、七九八
北海道	三、六八九	二、一四九	一、一九七	一、〇〇三	一、〇八八	一、五〇三	四八、四八三
宮城	六四二	二四二	二五六	一七七	四五	一一九	七、二九九
愛知	二、九四五	八一二	九一五	六九五	三一一	一、九一六	三八、三二七
福岡	六、六三六	二、五五八	一、五五八	一、〇五三	一、三六四	五、六八八	一一四、二五二
計	六三、五五五	二五、七六五	一九、〇四三	一七、五六四	一四、二〇〇	三三、九一五	七六八、三四四

●外國爲替相場 外國爲替相場(本月六日正金銀行調)左ノ如シ(大藏省)

巴里、里昂	銀行(電信 參著賣)	七七五 七四七
	個人 四箇月買	七八〇
哈爾賓	銀行參著賣	一四四
	個人 十日買	一一
香港	銀行 參著賣	一一五
	個人 十日買	一一二
上海	銀行 參著賣	六三
	個人 十日買	六五
	銀行參著賣	一一三
天津	銀行 參著賣	一一三
	個人 十日買	六一
	銀行參著賣	一四
漢口	銀行 參著賣	六一
	個人 十日買	六三
	銀行參著賣	一四
北京	銀行 參著賣	一二四
	個人 十日買	六一
濟南	銀行參著賣	一四
大連	銀行 參著賣	一一三
	個人 十日買	一〇
青島	銀行參著賣	一四
	個人 四月五日	三二
	銀行 同	六六

○産業

●外國保險會社ノ日本ニ於ケル代表者變更 神奈川縣横濱市山下町七十五番地「ユニオン、インシュランス、ソサイエテー、オブ、カントン、リミテット」日本ニ於ケル代表者「イー、ダブリュー、メートランド」退任ニ付同市同町同番地「マッシュー、ハーバート、アイヴィ」其後任者トシテ就任シタル旨屆出アリタリ(農商務省)

●卒業證書授與 水産講習所ニ於テ去月三十一日本科生徒卒業證書授與式ヲ擧行セリ其卒業生ノ氏名(×ハ優等)左ノ如シ(農商務省)

漁撈科

宮城 鈴木 德三　秋田 菅原 三郎　兵庫 杉 孝政
長崎 松浦 信雄　栃木 酒井森三郎　千葉 尾野 豊
東京 村瀬 二郎　東京 中村 國一　愛知 長谷川正一
新潟 眞後 外見　廣島 高本 等　岩手 外岡 元雄
茨城 檜山 鐵造　熊本 松岡益三郎　大阪 松本 利一
京都 辻村 秀一

製造科

北海道 ×今堀 孝人　愛知 ×梅木 香二　群馬 ×廿日出要之進
石川 篠原 正規　神奈川 吉澤 昇　群馬 大久保金三
神奈川 石塚 森男　東京 増田 典　廣島 宮崎 文四
東京 毛利 重之　山形 鈴野 光次　茨城 山口 豊樹
愛知 土井 武夫　長崎 白川 明則　愛知 稲生 正直
東京 西山 康　佐賀 倉田 寛一　茨城 酒井 達雄
東京 池邊 康綱　千葉 和田 貞　大阪 米井 俊雄
靜岡 杉田 豊藏　福岡 松尾 雅朗　長野 松田 悦郎
神奈川 井上 耐　山口 玉木松之進

養殖科

東京 ×川本 信之　岡山 久次 敏夫　東京 吉田 裕
千葉 鳥飼 敬義　山形 荒木 勝二　埼玉 菊池 鶴松
千葉 内藤 新吾　鳥取 原 邦明　新潟 井澤 潤次
靜岡 土井 久之　靜岡 石井省一郎　京都 山中孝太郎
神奈川 田邊 貞夫　宮城 小野寺元雄　神奈川 田中華太郎

●入學許可 水産講習所ニ於テ本月入學ヲ許可セシ者左ノ如シ(農商務省)

本科漁撈科

兵庫 小屋 勝之　千葉 荊米 義　福岡 津崎 勝巳
高知 北岡 康雄　宮城 保田 義夫　山口 小林 宗一
福岡 相羽 忠雄　東京 及川 英雄　佐賀 川内 武夫
岡山 角田 論　岩手 三浦永次郎　和歌山 長東三四士
佐賀 柴田 匡　鳥取 上村 忠彥　福岡 安部 丈夫
栃木 土金 養次　高知 島本 正美　東京 永井 寛次
岐阜 和田 長三　山形 尾崎順三郎　愛媛 高橋 廣榮
群馬 小淵 元吉　福岡 稲津 榮治　神奈川 小林 繁
東京 齋藤 信英　栃木 金井 元　靜岡 山田 英松
廣島 川崎 洛三　山口 坂田 忠二　東京 服部 元忠
東京 南部 辰眞　神奈川 武尾 義明　東京 若森 齊
栃木 広瀬 利正　埼玉 安藤 喜平

同 製造科

福島 根本 哲夫　佐賀 大塚德太郎　靜岡 永井 政司
廣島 豊田 忠雄　東京 小野澤 浩　東京 荒井虎之助
富山 村上龜次郎　埼玉 奥田 直富　長野 茂木 俊三
神奈川 能條 京圓　埼玉 岩田 繁　德島 甘利 久吉
福井 龍野 二郎　群馬 上野 武夫　東京 篠崎 仁包
熊本 田村 辰馬　千葉 根本 五郎　福島 鳴原 眞吉
愛知 梅澤 正吾　東京 澤登 謙次　香川 東原 正雄
山口 下井 誠　大分 丸山野國雄　宮城 中島 伊織
熊本 渡邊 正雄　香川 渡邊 清一　廣島 藤井 賓
北海道 三宅二一郎　福島 五十嵐源治　靜岡 伊藤 育三

同 養殖科

山口 南部 寛人　千葉 小林 武　愛知 山本 宣夫
福井 畑中 主計　廣島 藤田 正　新潟 相界 春夫
大阪 泉野 忠雄　北海道 新野 弘　愛知 天野 政之
東京 横山 英安　埼玉 鈴木 清藏　東京 酒井銀次郎
埼玉 潮田 廣吉　東京 諫早 隆夫　岩手 藤原 典助
佐賀 川崎 吾八　福岡 永川 保雄　兵庫 衛藤 六藏
大分 小川 千秋　愛媛 高須賀積夫

○運輸

●軌道特許狀下付 本月二日中原軌道株式會社發起人佐藤富十郎外十一名ニ對シ福島縣相馬郡中村町、同郡松ケ江村間ニ蒸氣ヲ動力トスル軌道特許狀ヲ下付セリ(鐵道省、内務省)

○衛生

●關東傳染病彙報 本件ニ關シ關東廳ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(去月二十六日本廳着)(内務省)

地名	期間	病名	患者	死亡	本年初發以來累計
旅順警務署	自三月十一日至同二十日	猩紅熱	一		
大連警務署	同	痘瘡			五
營口警務署瓦房店支署	同	痘瘡			一 三
同 大石橋支署	同	猩紅熱			一
遼陽警務署鞍山支署	同	痘瘡 猩紅熱			二 一
奉天警務署撫順支署	同	痘瘡 猩紅熱			一 一
關東廳管内本年一月以來ノ累計		痘瘡 猩紅熱			三九 六〇

在外公館及商務官報告

●揚子江上流開航 本件ニ關スル本月五日著重慶駐在領事代理貴布根康吉電報左ノ如シ(外務省)

揚子江增水セシニ依リ三月二十日以降重慶宜昌間小型汽船ハ航行ヲ開始シ大型汽船ハ四月下旬ヨリ開航スヘシ目下四川内亂ノタメ電信通セス在留本邦商人ハ此商業期ヲ控ヘ取引上多大ノ苦痛ヲ感シ居レリ

●紐育生絲商況 本件ニ關スル本月四日著同地駐在總領事熊崎恭電報左ノ如シ(去月二日本省着)(外務省)

三月三十一日ヲ以テ終ル一週間生絲相場(當地ノ重ナル本邦生絲商五軒ヨリ夫々一週間ノ平均相場ヲ取リ更ニ之ヲ平均セルモノ)左ノ如シ

關西特別飛切	九、一七五	關西一番	八、八五六
關西飛切上	九、〇九四	信州一番	八、八五五
關西飛切	九、〇〇六		
關西良一番飛切	八、九六〇		

市況一般ニ強氣ノ見込

●傳染病彙報 本件ニ關シ在マニラ帝國總領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(去月十四日本省着)

三月十三日及同二十日マニラ市内ニ於テ各一名ノ「コレラ」患者ヲ出セリ

同上ニ關シ同總領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(去月十九日本省着)

地名	期間	病名	患者	死亡	本年初發以來累計 患者	死亡
マニラ郡部	自二月四日至同十日	痘瘡	二	一	二	一

本件ニ關シ在新嘉坡帝國總領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(去月十九日本省着)

地名	期間	病名	患者	死亡	本年初發以來累計 患者	死亡
新嘉坡	自二月十一日至同十七日	「ペスト」	二	二	三	三

本件ニ關シ在盤谷帝國領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(去月二十日本省着)

地名	期間	病名	患者	死亡	本年初發以來累計 患者	死亡
盤谷市	自二月十八日至同二十四日	「ペスト」	二〇	一四	四九	三八
		「コレラ」	二	一	四	一

本件ニ關シ在ポートランド帝國領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(以上内務省)

地名	期間	病名	患者	死亡	本年初發以來累計 患者	死亡
ポートランド市	自二月二十五日至三月三日	痘瘡	四八	一	八〇	一
		猩紅熱	二九	一	四六	一

●米國最近商況 本件ニ關スル本月四日著同國在勤(紐育駐在)商務官西巖電報左ノ如シ(外務省)

引續キ好況ヲ示セル經濟界ハ信用及事業ノ過度ノ膨脹投機警戒ノ聲益々喧シク一般ニ準備銀行利上ヲ鬪議セラレ株式低落棉花ヲ首メ一般商品市場又軟弱ナリシカ準備銀行總裁會議ノ結果市場ノ利上説ヲ否定シ經濟界將來樂觀ノ意見ヲ發表セルタメ反撥氣勢ヲ見セタリ金融依然引締リ爲替不規則ナリ

生絲 積屋ハ先頃ノ市價底値ト見テ買進ミツヽアリ

絹製品 市況引續キ良好需要衰退ノ模樣ナシ羽二重川俣、閉散、加賀越前依然不引合、輸絹産地安値ノタメ買進ミ九圓五十錢位マテニシテ値段ノ激變ナクハ需要アルヘシ

製茶 紅茶依然強調先物取引成立綠茶在荷相當ニテ小口需用買ニ止リ臺灣茶ハ紅茶ニ連レ先行良好見込ナリ

棉花 紡績會社一割引乃至一割二分半賃銀値上ヲ爲シ製品市場依然好況ナルモ原料買入レ一巡ト株式安ニ引カサレ氣配軟弱

小麥 休日ニテ輸出商談閑散ナルモ産地ノ一般寒氣酷烈ノタメ市價一仙八分ノ五乃至二仙騰貴

銑鐵 原銑五十仙上騰工場增設十二、生產增加生産能力九十二「パーセント」歐洲ヨリ引合アレト高値ニ過キ不成立ナリ

鋼鐵 極通ヘ五万噸ノ輸出商談出來内外需要多大ニ益々強調賃銀値上問題アリ先行上向

銅 十七仙八分ノ三ニ上騰後倫敦安ノタメ沈靜ナリシカ昨今倫敦回復ニ連レ稍々見直シ青銅生産月二億封度賃銀値上アリ

●亞爾然丁關稅改正案議會通過 本件ニ關スル本月五日著亞爾然丁國在勤(ブエノスアイレス駐在)商務官石井忠吉電報左ノ如シ(外務省)

下院豫算分科會ハ現行關稅二割五分增率ヲ議決セリ同案ハ恐ラク豫算委員會本會議ヲ通過スルコトナルヘシ左スレハ現行査定額ハ一九二〇年ノ二割增ニ更ニ今回其十二割ニ對スル二割五分ノ增率ニ依リ結局五割增額セラル、コト、爲ルヘキヲ以テ輸入業者カ現ニ仕掛ケツ、アル關稅以外ニ新ニ仕掛フヘキ額ノ商品賣價ニ對スル割合左ノ如シ

羽二重、絹織、綿織、護謨製玩具、「セルロイド」椅約八分、紐、ハンケチ、貝釦、紙、「ナプキン」、摩璉類約六分前紬、本荏眞田、「セルロイド」玩具、歯楊子約五分、陶磁器ノ飼約一割三分、其他ノ陶磁器約六分